

令和3年7月28日（水）
国土交通省 関東地方整備局
河川部 河川計画課
荒川調節池工事事務所

記者発表資料

「荒川第二・三調節池整備事業」に伴う 「JR川越線荒川橋りょう改築工事に係る基本協定」 の締結について

国土交通省関東地方整備局荒川調節池工事事務所では、埼玉県南部及び東京都区間を洪水から守るため、平成30年度より、『荒川第二・三調節池』の整備を進めています。

「JR川越線荒川橋りょう」周辺の堤防は、調節池に必要な高さや幅が不足していることから、本事業の中で、橋りょうの架け替えを行い、堤防を高くする計画としています。

本橋りょうの架け替えに向けて、これまで各種調査を進めてまいりましたが、架け替えの概ねの位置が決定したことから、令和3年7月28日付けで、関東地方整備局とJR東日本大宮支社は、「一級河川荒川改修事業に伴うJR川越線荒川橋りょう改築工事に係る基本協定」を締結しました。

近年激甚化する豪雨災害を踏まえ、一日でも早く地域の安全・安心を確保するため、引き続き、「荒川第二・三調節池整備事業」を推進してまいります。

【掲載場所】

国土交通省関東地方整備局ホームページ>記者発表資料

アドレス：<https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/index00000003.html>

国土交通省荒川調節池工事事務所ホームページ>最新の記者発表情報

アドレス：<https://www.ktr.mlit.go.jp/araike/index.htm>



発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、東京都庁記者クラブ、さいたま市政記者クラブ、さいたま市地方記者クラブ、川越新聞記者会

問い合わせ先

○基本協定に関する問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 河川部河川計画課

河川計画課長 : ごとう 後藤 ゆうや 祐也
建設専門官 : さえぐさ 三枝 しんたろう 伸太郎

TEL : 048-600-1335、 FAX : 048-600-1378

○事業に関する問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 荒川調節池工事事務所

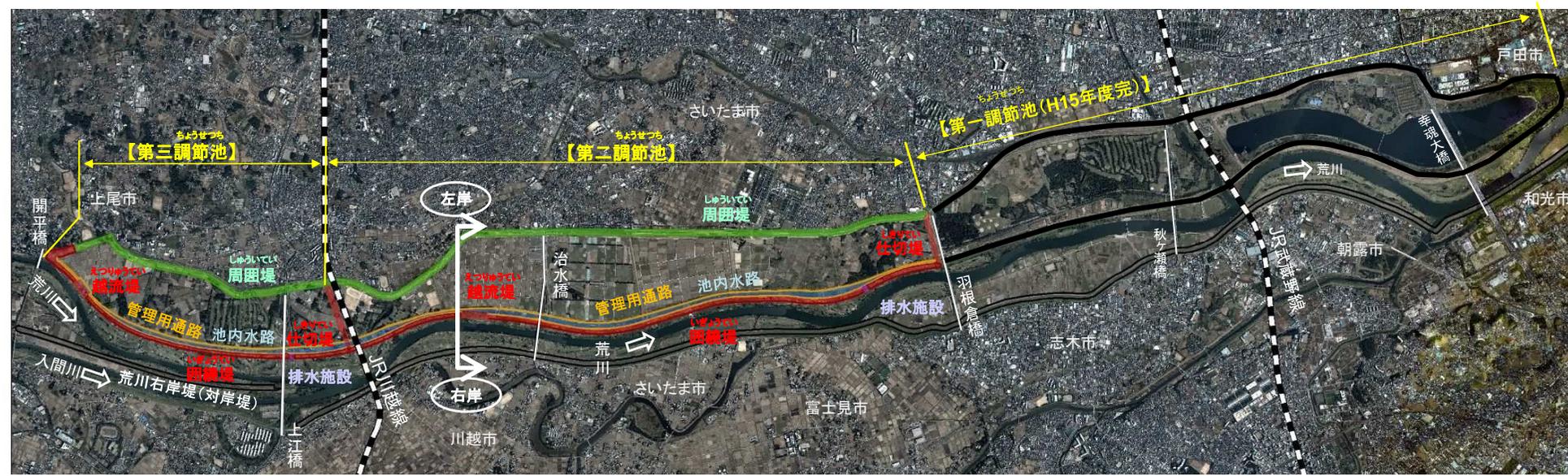
副 所 長 : あらき 荒木 しげる 茂
事業計画課長 : やまかわ 山川 たかひろ 貴大

TEL : 048-767-6041 (代表)、 FAX : 048-767-6046 (代表)

①荒川第二・三調節池整備事業の概要

埼玉県南部・東京都を洪水から守るため、広い河川敷を活用して、洪水時に川の水の一部をためこむ「荒川第二・三調節池」を整備しています。

計画平面図



注) 堤防、越流堤、排水施設などの位置や幅については検討中のものであり、確定しているものではありません。

事業の内容

○場所

埼玉県さいたま市、川越市、上尾市

○全体事業費

約1,670億円

○事業期間

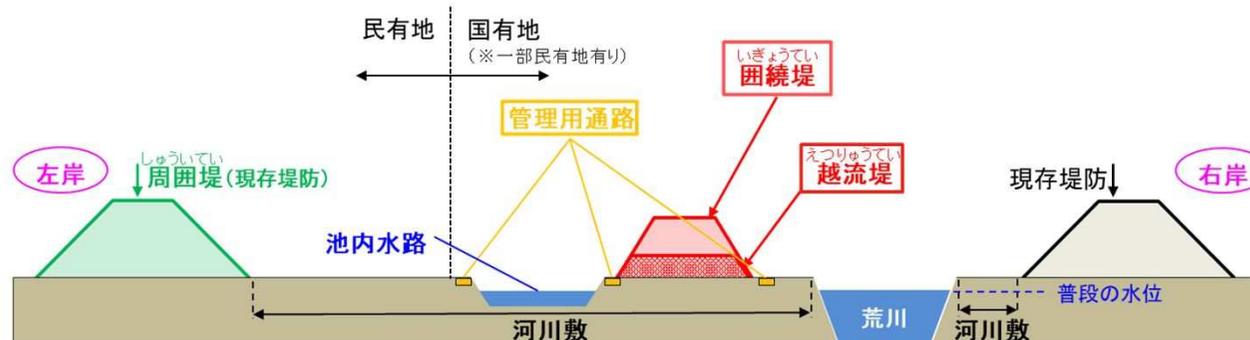
平成30年度～令和12年度(13年間)

○事業内容

- ・荒川第二・三調節池の整備
面積 約760ha(第二:約460ha、第三約300ha)
治水容量 約5,100万m³
(第二:約3,800万m³、第三:約1,300万m³)
- ・JR川越線荒川橋りょう改築
- ・荒川右岸堤(対岸堤)の整備

断面図(イメージ)

調節池の断面(上流から下流に見た図)

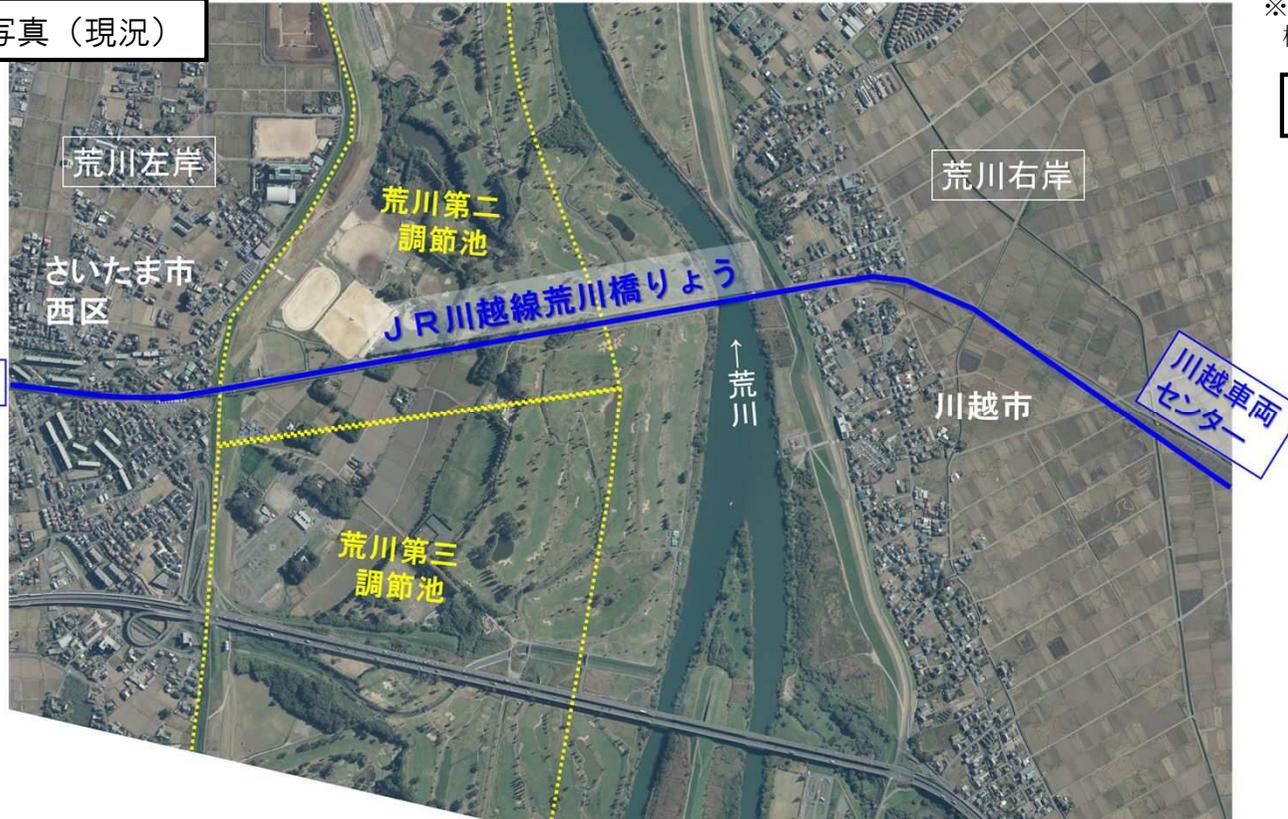


注) この図は、調節池の関係施設を分かりやすく示したイメージ図であり、実際とは異なります。

② J R川越線荒川橋りょう改築工事

第二調節池の整備区間内にある J R川越線荒川橋りょう周辺の堤防は、高さや幅が不足していることから、調節池事業の中で橋の架け替え※を行い、堤防を高くする計画としています。

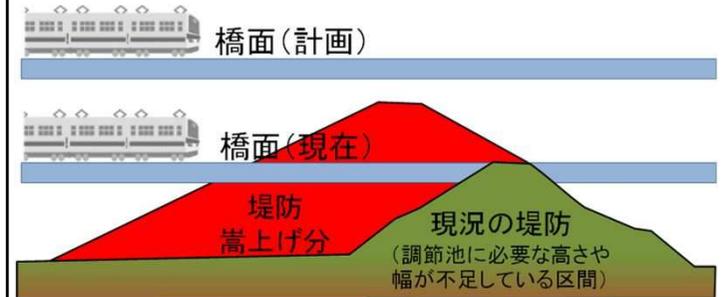
航空写真（現況）



※調節池事業の一環として実施する本工事については、現状の川越線の機能を補償するものであることから単線での架け替えが前提となります。

完成イメージ

- 橋面は、現況より約4～5m上がる見込みです。
- 堤防は、現況より約2.5～2.8m上がる見込みです。



現況(左岸側)



現況(右岸側)



注)図面は、分かりやすくするために、横方向を縮めて描いてあります。記載の寸法は、今後の詳細な測量等により変わる場合があります。

③架け替え位置について

○周辺の土地利用状況や鉄道運行への影響等を考慮し検討した上で、架け替え位置を下図の通り上流側に決定致しました。
○詳細なルート・構造等については、別途、3県市で実施している「JR川越線荒川橋りょうの複線化仕様での架換えに関する調査」の結果もふまえ、今後の概略設計等で決定していく予定です。

